

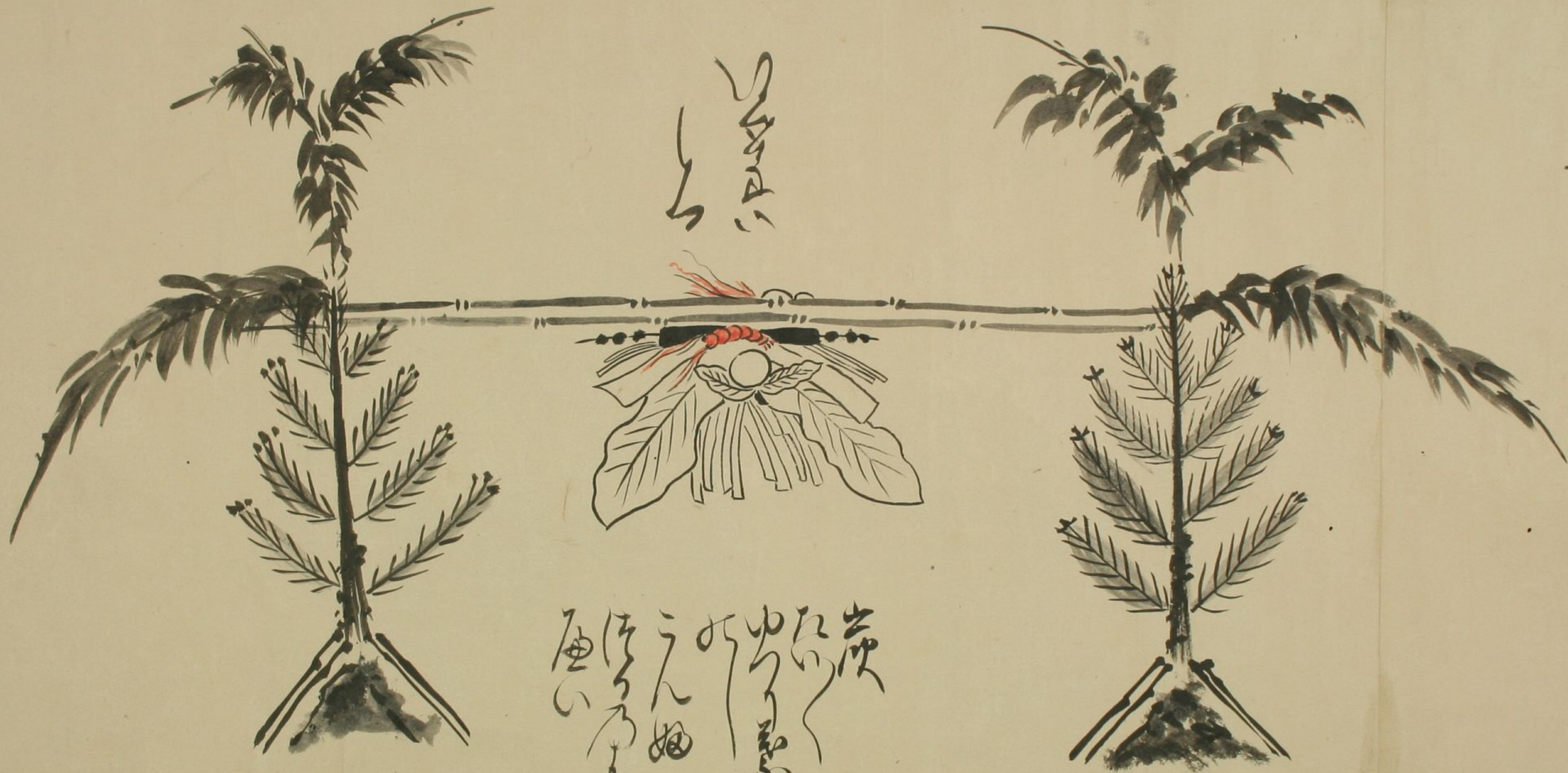
松之図

炭
山
之
松
之
図
松
之
図
松
之
図

松之図

早稲田大學
圖書齋藏書

門松之儀



しめ
かざり

炭
の
く
り
の
ま
は
ら
の
ま
は
ら
の
ま
は
ら

夫門松と云ふは表天地陰陽松の形陽
竹乃飛陰松ハ少年ニ命ヲ授ケ



夫門松と云ふは表天地陰陽松の形陽
 竹乃形陰松の形年々ありて松を
 送らざるは松の木の心は木を
 成致也竹の有さるは草乃松に
 又子歳妻は日ノ故はゆく中一用を
 方又松月と詭胎と云ふ月夜
 お胎と云ふは松の心は年々乃
 始月の初志候時と云候は朝露
 二日大日と云ふ年日四日松の心は
 六十年日七十年日と云ふ月七日に
 始なり一因縁七あるはつは松を
 松竹柳一津と云ふ女のの丸をせ
 たつく一いつ俣赤白一色は松の心
 二股と云ふ炭と云ふ海と云ふ切
 紙十二枚と云ふ松の心は松の心
 一りと云ふ松の心は松の心は
 木と松の心は松の心は松の心
 天地表と云ふ松の心は松の心
 會はる松の心は松の心

右此一巻は当家能也

